

平成23年度埼玉県博物館連絡協議会総会会議録

【開催期日】平成22年4月22日（金） 14時00分～15時00分

【開催場所】埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂

【出席者】総会資料 参加館一覧参照

【会議内容】

1 報告事項

(1)平成22年度退会館及び新規入会館について【総会資料1】

退会館：ジョンレノンミュージアム

新規入会館：さいたま市大宮盆栽美術館 木の博物館 木力館

上記の3件を事務局より報告。

なお、23年度については現在のところ、退会及び新規入会はないが、さいたま市において組織改編があったので平成23年度予算案のなかで詳細説明をすると補足

(2)平成22年度各地域活動報告について【総会資料2】

・南部地域活動報告・・・報告 近代美術館

・西部地域活動報告・・・報告 埼玉県立嵐山史跡の博物館

・東・北部地域活動報告・・・報告 埼玉県立川の博物館

・秩父地域活動報告・・・報告 埼玉県立自然の博物館

3 協議事項

(1)平成22年度事業報告（案）について【総会資料3】

・事務局より報告し承認される。

(2)平成22年度決算報告（案）について【総会資料4】

・事務局より報告

・監査より監査報告を受け承認される。

(3)平成23年度事業計画（案）について【総会資料5】

・事務局より提案し承認される。

(4)平成23年度予算（案）について【総会資料6】

・事務局より提案し承認される。

補足説明

さいたま市組織改編によりさいたま市博が中央館になり、その下部組織としてさいたま市立浦和博物館・浦和くらしの博物館民家園・旧板東家住宅見沼くらしっく館が存在することとなった。そのため埼玉博連の加入はさいたま市博のみとなり、その他3館はいわゆる分館扱いとすることとなる。

(5)その他【総会資料7】

○東日本大震災による被災者支援について

県立の9施設は既に4/16(土)から無料化を実施している。趣旨に賛同できる館は御協力いただきたい。

また、国際博物館の日(5/18)にあわせて新聞広告の掲載を事業計画(案)に盛り込んでいるが、加盟館園一覧を掲載する予定なので、被災者無料の館園は何らかのマークを施す予定である。

○東日本大震災による被害状況調査について

今回の震災による埼玉博連加盟館の被害状況をアンケート形式で取りまと

- め、今後の展示や資料保管のために役立てていこうとするものである。
- ・以上2点事務局より提案し承認される

※(3)～(5)に係る質疑応答

・参加館園より質疑

- ①無料化しない館は新聞広告に載らないのでは不公平ではないか？
- ②県では被災者無料を実施しているが、その確認方法は？
- ③新聞広告は国際博物館の日のアピールする広告としての認識でよいか？

・事務局より回答

- ①加盟館園一覧を掲載し、そこに無料の館は何らかのマークを入れることを検討している。ゆえに、全ての加盟館園の名前は掲載する。
- ②県立の施設では性善説に立ち口頭での申し出となっている。
- ③チーフ館会議において国際博物館の日に何か埼博連としての事業が出来ないか検討がなされた。元々は国際博物館の日のPRとしての新聞広告掲出であったが、後に震災があり、被災者支援の趣旨も盛り込むこととなった。
新聞広告の趣旨としては「国際博物館の日のアピール」+「被災者支援アピール」の2本柱で掲出を考えている